

リニア中央新幹線事業に係る関係市町村長とＪＲ東海との意見交換会 概要

1 日 時 令和8年1月14日（水）14:30～16:30

2 場 所 飯田市役所第2委員会室

3 出席者

- <市町村等> 佐藤飯田市長、北沢松川町長、藤田高森副町長、勝野阿南町長、熊谷阿智村長、大久保根羽村長、金田下條村長、清水売木村長、永嶺天龍村長、横前泰阜村長、市瀬喬木村長、下平豊丘村長、熊谷大鹿村長、宮下中川村長、向井南木曾町長、高田南信州広域連合副管理者
- <長野県> 室賀建設部リニア整備推進局長、岩下南信州地域振興局長、折井飯田建設事務所長兼リニア整備推進事務所長
- <ＪＲ東海> 宇野護 副会長、水野孝則 副社長、澤田尚夫 本部長 他5名
- <鉄道・運輸機構> 古谷関東甲信工事局長

4 冒頭挨拶

【リニア整備推進局長】

- ・ 本日は大変お忙しい中、飯田市長、下伊那郡の町村長、南木曾町長、中川村長、南信州広域連合の副管理者の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。
- ・ 宇野副会長執行役員、水野代表取締役副社長様をはじめ、ＪＲ東海の皆様方、鉄道建設・運輸施設整備支援機構関東甲信工事局長様にも出席いただき、ありがとうございます。
- ・ この意見交換会については、リニア中央新幹線の整備推進に向けた相互の課題・問題意識を共有し、解決に向けて関係者の連携を密にして取り組んでいくために、平成28年度から開催しているものです。
- ・ リニア中央新幹線の県内工事については、ＪＲ東海のご努力により、目に見える形で進捗されております。
- ・ 一方で、諸課題もあり、解決していく必要があります。
- ・ この意見交換会を通じて、これまでも地元とのコミュニケーションや生活環境に配慮し、事業をすすめていただき感謝申し上げます。
- ・ 本日の意見交換会において、事業進捗に伴う喫緊の課題である、「地域の信頼、住民理解の確保、コミュニケーション」、「工事の安全確保、車両の安全運行」、「発生土、要対策土」「環境への影響回避、低減」、中長期的な対応である「地域振興、観光振興、地域貢献」を議題としています。
- ・ 県としては、リニア県駅を核とした地域振興の取り組みを積極的に進めていきたいと考えており、ＪＲ東海にも協力をいただけるよう、お願い申し上げます。
- ・ このような取り組みを行っていくうえでも、早期開業、開業時期の明確化が重要であり、トップ会談でも、知事からお伝えしています。
- ・ 本日の会議が、率直な意見交換となり、前向きな場になることを期待しております。

【南信州広域連合長（飯田市長）】

- ・ 本日は、ＪＲ東海副会長、副社長をはじめ、幹部の皆様には遠路お越しいただきありがとうございます。
- ・ 開業時期が当初予定から延びてしまい、未だに静岡工区は着工されておりませんし、開業に見通しが立たないというような状況です。
- ・ 住民の間では、失望、諦め、脱力感といった感情が渦巻いています。
- ・ 一方で、伊那山地トンネルの戸中・壬生沢工区と、隣接する坂島工区の間の本坑が、昨年5月に貫通して、隣接する工区で本坑がつながるのは、隣県の山梨県の実験線を除いて初めてというニュースもあり、天竜川を渡る高架橋については、橋梁の姿が遠くからも見えてお

り、県内工事の進捗が住民の皆さんにも感じられる状況にもなっています。

- ・ 昨年の意見交換会では、静岡工区の着工のタイミングで、品川名古屋間の開業時期についてお示ししたいという発言もありました。
- ・ 静岡県との協議を1日も早く合意していただいて、今年（2026年）のうちに静岡工区が着工され、開業時期が示されることを、地元自治体としては期待しています。
- ・ また、工期が延びることは、地元住民の皆さんの生活環境に直接影響を及ぼすものであり、土曾川橋梁の基礎に要対策土を活用することについて不安を感じている住民の方もいらっしゃいます。
- ・ 県内工区の予定通りの完了を改めてお願いするとともに、工事の安全確保、車両の安全運行についても重ねてお願いします。
- ・ 地元自治体としても、土地をご提供いただいた地権者の皆さんをはじめ、事業にご協力いただいている関係者の皆さん、住民の皆さんの期待に応えられるように、リニア開通を見据えたまちづくりをしっかりと考えていきます。
- ・ JR東海の幹部の皆様には、これから申し上げる意見は、我々が住民の皆さんから日頃直接お聞きしている切実な声を反映したものであるということを肝に銘じていただき、真摯に受け止めていただきたいと思います。

【JR東海副社長】

- ・ 中央新幹線計画の遂行につきまして、日頃より皆様方には多大なご支援とご協力をたまわり感謝申し上げます。
- ・ 本日皆様方と意見を交換させていただき、リニア新幹線計画の推進に役立ててまいりたいと思っております。
- ・ 品川名古屋間の開業時期については、静岡工区のトンネル工事が未だ着工の見込みがまだ立っておらずで、現時点で新たな開業時期を見通すことができない状況です。
- ・ 一方で、静岡県との対話は着実に進んでおりまして、昨年6月には県の専門部会におきまして、水資源に関する対応に目途がついたところです。
- ・ 残る環境保全や発生土置き場に関する対話についても、関係者とのコミュニケーションを大切にしながら、丁寧かつスピード感を持って取り組んでいきます。
- ・ 県内の工事については、皆様に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。
- ・ 昨年の5月に伊那山地トンネルにおいて、隣接する二つの工区の間が貫通したほか、天竜川の下段側に高架橋の橋脚が立ち上がっている状況です。今後とも精力的に工事を進めてまいります。
- ・ 発生土については、県や地元の協力をいただき、現時点で37カ所が受け入れ箇所として決定しています。
- ・ 自然由来のヒ素等を含む要対策土について、県と飯田市に協力いただき、昨年6月から7月にかけて、土曾川橋梁の橋脚基礎部の中詰材として活用する工事を行っていました。
- ・ 今後も、長野県からの助言を反映した環境保全計画書や飯田市と取り交わした確認書の内容を遵守し、しっかりと取り組んでいきます。
- ・ 豊丘村にご協力いただいている本山の発生土置場については、要対策土の取り扱いを地元の皆様へ説明を行い、環境保全計画書を公表させていただいたところで、今後、県からの助言に対し、真摯に対応してまいります。
- ・ 地域振興に関して、昨年10月に新たな中部圏広域地方計画の中間取りまとめの案が国から公表され、長野県駅（仮称）を核とした圏域形成強化に向けた方針が提示されています。
- ・ 弊社としても、中央新幹線の沿線や圏域が活性化され、魅力的になることを期待しており、鉄道事業者としての立場から、長野県や関係自治体、地域の皆様と連携しながら協力して取り組んでいきます。
- ・ 中央新幹線は、東京、名古屋、大阪間の大動脈輸送の二重系化とともに、我が国の社会経済の更なる活性化に資する重要なプロジェクトと考えております。
- ・ 工事の安全、環境の保全、地域の皆様との連携を重視し、早期の開業を目指し全力で取り組んでいくので、引き続きのご支援、ご協力をお願いしたいと思います。

5 工事の状況説明

○JR東海から長野県内の工事進捗状況等について説明。

6 意見交換内容（概要）

①地域の信頼、住民理解の確保、コミュニケーション

【飯田市長】

- ・ 住民の皆さん、土地をご提供いただいた地権者の方、リニア事業に対して協力する方の信頼、期待に応えるため、また、これから我々が事業を進めていくうえで、開業時期をできる限り早期に示すということが大変重要だと思っております。
- ・ ぜひ、早期に開業時期について示していただきたい。
- ・ それからもう一点は、地元の皆さんとの信頼のために、地域との約束事を守っていただくということだと思います。
- ・ 県内工区の工期厳守については、昨年の意見交換会でも、はっきり守るとのことでした。
- ・ まだ公表されていない工区もあるので、できる限り早期に工期を示してもらい、それをしっかり守っていただくことが必要と思っております。

【喬木村長】

- ・ 喬木村の工区では、高架橋の工事がどんどん進んでおり、住民の方々の期待感も大変増しています。
- ・ 一方、高架橋沿線の方々ですと、ほとんど日陰状態ということで、毎日ストレスを溜めています。
- ・ これまでの話では、完成した後調査を行って、補償が行われるということですが、高架橋沿線の方々には悶々と暮らされています。
- ・ 特に、高齢者世帯の間では、完成してからではなく、今必要との声もあるので、ぜひこの課題の解決の検討をお願いしたい。
- ・ また、高架橋の下には広大な空間ができますが、この活用の計画があるのであれば、早めに提示をお願いしたい。

【大鹿村長】

- ・ これまで発生土運搬路が狭隘であるということで、2カ所のトンネル掘削、それから5カ所の拡幅工事等進めていただいた。
- ・ また、現在も県のリニア関連事業ということで、整備を進めていただいている。
- ・ そういう中で、運搬車両の台数が多いということで、車の運転に慣れない観光客の皆さんを中心に支障があるということで、地元観光協会と定期的に協議の場を設けて、土曜日でも発生土運搬を休工としていただきたいという要望をあげていたところ、昨年一年間ご対応いただき、感謝申し上げます。
- ・ 大鹿村内の観光事業者の皆さんもコロナ以降観光客の戻りがあまりよろしくないということで、事業運営に非常に支障をきたしている部分があるということで、土曜日の運休と合わせて、例えば土曜日と連続した祝日も、発生土運搬の運休をお願いしたいと思っております。

【JR東海本部長】

- ・ 開業時期を早く知らせてほしいというのは、それはもう本当にその通りだと認識しています。
- ・ 開業時期については、なかなか見通すことができないという状況です。
- ・ 品川から名古屋までの工事を見渡した時に、難しくて時間がかかると思われる静岡工区にまだ着手できておりません。
- ・ 早期に着手をして、共有できるような情報をきちんと提供したいと考えています。
- ・ 静岡工区については、県、大井川の流域の皆さんと対話を実施してきており、この一年で言うと、私個人としては手応えを感じてきております。
- ・ いつ着手できるかというのは、まだ申し上げられる段階ではないんですが、しっかりと進めていきたいと思っております。

- ・ 県内工事の工期について、長野県内で進めております工事につきましては、それぞれの工区の状況に応じて、関係の皆様にご説明しているところです。
- ・ これまで皆様に説明させていただいたことはしっかり守っていくということで、引き続き取り組んでいきたいと考えております。
- ・ まだ一部の未契約の工事や、工期を見直していく工事については、個別に準備を整え、それぞれ関係するところに、きちんと説明していきたいと考えております。
- ・ 日照の問題について、高架橋の工事は、構造物自体や足場も非常に大きいので、現在実際に日陰が生じているということは承知しています。
- ・ 杓子定規に言うと、構造物が完成してからになります。実際に日陰が生じ、ご懸念やご心配がでているということなので、実態を確認して、皆様の懸念が払拭できるようなことはないかという観点で対応を検討させていただきたいと思います。
- ・ 将来、高架下に何を置かかということについては、一部リニアを動かす設備などを置く計画ですが、まだ具体的な説明をできる段階になっておりませんので、しっかり計画をまとめ、きちんと説明をさせていただきたいと考えております。
- ・ 発生土の運搬について、本日午前中、大鹿村の現場に行ってきました。県道 59 号、松川インター大鹿線の通行状況を確認してきました。
- ・ これまでいろいろな形でご負担、ご協力をお願いしており、ありがとうございます。
- ・ 発生土の量はトンネルを掘る量なので、ある程度決まっておりますので、いつどこへ運ぶかということになります。土曜日は運休ということの一部をまいりました。
- ・ これに加えて、土日とつながるような運休も運休ということをお話いただきましたが、いつどこに運ぶかということもあるので、村の関係者の方と相談をさせていただき検討していきたいと考えております。

②工事の安全確保、車両の安全運行

【飯田市長】

- ・ 毎年申し上げていることなので、念押しみたいな話になりますが、工事期間中、工事の沿線地域、また車両の通る地域の皆さんは大変、不安を抱えながら暮らすということになります。
- ・ どうやったら住民の皆さんの負担が最小限になるのかということについて、常に配慮、考慮をしていただきたい。
- ・ 例えば、通学時間帯の対応など、具体的な要望がこれからも出てくると思いますが、ぜひ、関係地区の皆さんに、誠意を持って対応、対処をお願いしたい。
- ・ 場合によっては確認書を出すことも必要になるかもしれませんが、その履行について確認するといったような機会を設けることも必要だと思っておりますが、しっかり対応してもらっているなという実感をできる、丁寧な対応をお願いしたいと思っております。

【喬木村長】

- ・ 工事用車両の運行について、工事が進むにつれて地元住民の方々の要望が強くなっていると感じています。
- ・ 一部の地区の負担軽減になるようにと、運搬ルートの分散を図ってりましたが、多くのルートが通学路であったりして、懸念が増えてしまっています。
- ・ 工事用車両が通ることによる交通安全対策について、村と協議を重ね対応していただきたい。

【JR東海本部長】

- ・ 工事車両の交通安全について、工事車両の運行台数がどんどん増えてきている状況ということは承知しております。
- ・ この工事車両にかかることは、非常に大きな課題だと認識をしており、安全の確保に取り組んでいるところです。
- ・ 状況を確認し、引き続き安全運行に取り組んでいきたいと思っております。
- ・ 通行する時間帯、特に通学時間帯の運行については、地域の方ときちんとお話をさせてい

たきます。

- ・ 昨今、GPS を使った安全にかかるシステムの導入やマナーについても取り組んでいきたいと思ひます。
- ・ 少し毛色が違ったところでは、小学生を対象に交通安全教室をやらせていただひているところだす。
- ・ こういった取組を地域の方のご協力をいたひきながら引き続き取り組んでいき、合わせて工事に対する理解も深めていければと考へております。
- ・ 運行ルートの分散については、分散させると影響範囲も広がることになるので、通学路の一部変更や、安全に横断できる箇所の新設、誘導員の配置など、地域の方々と引き続き情報を共有しながら、取り組んでいきたいと思ひます。

③発生土、要対策土

【飯田市長】

- ・ 発生土置場については、住民の皆さんからすると、本当に安全なのか、将来にわたって大丈夫なのかという心配があります。
- ・ 維持管理について、将来にわたってしっかりやっひていくんだという説明や姿勢を住民の方々に示していただひきたい。
- ・ 土曾川橋梁への要対策土の活用については、非常に心配されている住民の方々がいらっひやる。
- ・ 市としても確認書の履行内容を確認するための委員会を設けて対応していますが、これからずっと安全が確保されているということがしっかり伝わるように丁寧な対応やしっかりとした説明をお願いしたいと思ひます。

【豊丘村長】

- ・ 本山の発生土置場については、運搬車両が集落の方へ降りて来ていない状況であり、そういう意味では非常によかった。
- ・ 要対策土搬入については、話し合ひながらやっひておりますが、危険性はゼロではないので、もし水道水に基準を超えるヒ素がでるような場合には代替水源を用意するというこを明記して、確認書を結んでいただひければと考へております。
- ・ また、地下水の検査の状況を村民にわかるように説明していただひき、県の助言を踏まえ、しっかりと安全性を確保しながら対応をお願いしたいと思ひます。

【南木曾町長】

- ・ 発生土置場の管理計画について、住民の方により理解していただくために、例えばどのぐらひの雨が降った場合に見回りをするとか、どのぐらひの地震の時に工事を中止して点検をするとか、わかりやすい具体的な説明をお願いしたい。
- ・ また、公表について、地域の皆さんにとって関心の高い事項については、町で公表するよりも事業を実施しているJR東海で公表した方が、地域の皆さんが理解しやすいと思われるので、状況を見ながら公表について考へていただひきたいと思ひます。

【JR東海本部長】

- ・ 発生土の置き場をきちんと決めることが、トンネルの工事、県内の工事を進めていく上で非常に重要な課題であり、これまで様々なところで活用されていただひており、感謝申し上げます。
- ・ 発生土置場の取り扱ひについては、皆様からの意見、要望をしっかりと聞きして、丁寧に対応していきたいというふうで考へております。
- ・ 安全性については、例えば雨対策や、地震対策として、鉄道や道路で使うようなしっかりとした基準を活用して対策を講じている。あらためて関係する方々に説明していきたいと思ひております。
- ・ 維持管理については、心配を少しでも払拭できるように、例えば、水や土砂が流れていかにないようにするとか、具体的な計画をきちんと決めて、管理をしていきます。

- ・ 一部、最終的にその土地をお持ちの方が管理していくところもありますので、その場合も、管理に伴う懸念、心配をしっかりと聞いて、必要な協力をしていきたいと思っております。
- ・ 土曾川橋梁における要対策土の活用について、いろいろなご心配、ご懸念があるということ承知しております。
- ・ 飯田市との確認書締結や委員会を設置いただいたことについて、感謝を申し上げます。
- ・ 引き続き皆様のご懸念、ご心配が払拭できるように、ご質問にお答えしたり、必要な対策の説明をしていくということをしつかりと丁寧に対応していきたいと考えております。
- ・ 土曾川橋梁の工事はまだ続きますので、引き続き地元とのコミュニケーションをしつかり取りながら、飯田市役所と情報共有をしつかり行いながら、進めていきたいと思っております。
- ・ J R東海としても長期的に水質などいろいろな調査をやっていきますので、きちんと情報提供、情報共有しながら進めていきます。
- ・ 本山について、要対策土を搬入することについて、地元にご理解いただいたことに関して感謝を申し上げます。
- ・ 専門家のいろいろな知識、知恵を拝借しながら、勉強してきており、この結果を地元これまで説明し、ご理解を得たと承知をしております。
- ・ この後も、水質などをきちんと測っていきますので、データについてきちんと提供、情報共有して進めていきたいと思っております。
- ・ 特に地下水の水質調査など、これまで工事の前からずっと続けていますので、工事中はもちろん、工事後も継続して行っていく計画としておりますので、その結果についても、きちんと説明しながら進めていきたいと思っております。
- ・ 万が一、基準値に適合しない結果が出た場合には、速やかに情報共有し、対応していくということをあらかじめ話させていただきたいと思っております。
- ・ 南木曾町については、当初なかなか発生土置き場が見つけれない状況でしたが、現在はいろいろなところで提案いただき、感謝申し上げます。
- ・ 一方で、町の皆様のご心配されているということも承知をしており、ご懸念にしっかりと答えできるように進めていきたいと思っております。
- ・ 重金属が出た場合の公表の仕方についてですが、町でやるのか、J R東海でやるのかというのは、どういった仕方が町民の皆さんが安心するか、一番適切な時期となるかという観点でお話をさせていただいて、やり方を決めたいと思っております。
- ・ 発生土置き場は、全ては決まっておりますが、確定に向けて引き続きご協力とご理解をお願いしたいと思います。

④環境への影響回避、低減

【飯田市長】

- ・ 環境影響について、具体的には水、騒音、日照の3つです。
- ・ 水につきましては、水枯れの懸念です。
- ・ 住民の皆さんは、岐阜県内の工事における水枯れのニュースについては非常に敏感に感じ、心配をしておりますので、引き続き、影響が出ないように、慎重な工事の施工をお願いしたいと思います。
- ・ 井戸水等の調査についても引き続きしつかりやっていただき、影響が懸念される場合には、対策をしつかりとっていただくようお願いいたします。
- ・ 万が一、何か影響が確認される場合には、速やかに情報提供、対応をお願いしたい。
- ・ 騒音については、具体的にはフードが切れるような部分の住民の皆様は心配が大きいので、この住民の皆さんに対して、個別具体的な対応が必要なので、引き続き丁寧な対応と説明をお願いしたいと思います。
- ・ また、根本的に防音のための車両の改良や防音設備の改良について、引き続きしつかり努力していただいて、騒音の軽減に取り組んでいただきたいと思います。
- ・ 日照については、飯田市内においても、大きな構造物ができることから影響が出てくると思っております。
- ・ 農作物や生活環境に具体的な影響が生じる可能性がありますので、しつかり事前の調査を

行っていただいて、関係者の皆さんに丁寧な説明と対応をお願いしたいと思います。

【喬木村長】

- ・ 工事用車両の出入りによって、道路が汚れているとか、いろいろな情報が来ます。
- ・ 工事事務所にも伝えておりますが、しっかり注意を払って、今後も進めていただきたいと思います。
- ・ 工事の振動の影響なのか分かりませんが、建具の建て付けが悪くなったとか、いろいろな情報も寄せられておりますので、ぜひこういったことにもしっかりと応えていただきたいと思います。
- ・ 特に、休工日はしっかり守っていただかなければいけないと思っております、基礎を打つときに、かなりの振動や騒音が発生し、一日中落ちていて家に居られないというような声も届いておりますので、配慮いただきたいと思います。

【南木曾町長】

- ・ 水道水源の予備的措置を積極的に対応していただいたことについて、感謝を申し上げます。
- ・ 町の水道以外にも、個人水道や、農業用水といったものもありますので、対応、配慮をお願いしたい。
- ・ また、各種モニタリング調査の結果や、工事用車両の運行状況について、情報共有を図っていただくとともに、できるだけ積極的な情報公開の姿勢を持ちながら取り組んでいただければと思います。

【JR東海本部長】

- ・ 水に関しましては、工事現場周辺の河川の流量や、地下水の状況を監視しながら、工事を行っているところです。
- ・ 何かデータに異常があったり、工事による影響が生じた場合については、まず応急対策を行った後、恒久対策も含めてしっかりと対応していきたいと思います。
- ・ これについては、データなども関係機関と共有しながら進めていきたいと思います。
- ・ 騒音対策については、基本的にフードをかけていくということになりますが、一部安全上の課題や、技術的な観点から防音壁をつける区間があります。
- ・ これについては、地域の方々に説明させていただいておりますが、引き続き、リニアの走行による騒音の影響があると思われる地域の方々に、家屋での防音対策のやり方についても丁寧に説明していきたいと思います。
- ・ また、車両や設備での対策、騒音対策の技術開発を引き続きしっかりと取り組んでいきたいと思います。
- ・ 日照の問題については、きちんと基準に基づいて対応させていただく考えであります。
- ・ 住宅や農作物、太陽光発電への影響の可能性もありますので、きちんと基準に基づいて、対応させていただきますが、地域の事情をしっかりと伺いながら進めていきたいと考えております。
- ・ 工事に伴う粉塵、騒音、振動について、地域の方になんとかご理解いただきながら進めていると思っております。
- ・ 休工日は必ず守るようというお話がありましたが、引き続き徹底していきたいと思っております。
- ・ 一部、工事の影響で少し建具が閉まりにくくなったのではないかというご懸念も出ているということですが、調べられるところはすぐきちんと調べて、きちんと対応していくことになろうかと思っておりますので、役場とも連携しながら進めていきたいと思っております。
- ・ 粉塵対策についても、例えば散水を行うなど取り組んでいるところですが、何かお気づきの点がありましたら、引き続き、事務所にも連絡いただきながら、話を伺いながら進めていきたいと思っております。
- ・ 南木曾町においては、水源の予備的措置を工事前にやらせていただきました。
- ・ この予備的措置の実施にあたり、設計の段階から町にしっかりとご協力いただきましたこと

とに感謝申し上げたい。

- ・ 一部、予備的措置の対象から外れる場所があるということで、水道を引けないかといったことを含めて、対応を検討していきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願います。

⑤地域振興、観光振興、地域貢献

【飯田市長】

- ・ リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議において、東京一極集中から多極分散型国家の実証モデルとなる都市圏域として伊那谷を盛り上げていきたいと阿部知事から発言いただいている。
- ・ また、阿部知事からJR東海丹羽社長へ本社機能一部移転のお話をさせていただいております。
- ・ ぜひ、かたちの見える地域振興への参画をお願いしたいと思います。
- ・ 本社機能の一部移転であれば一番わかりやすいですが、なんらかのオフィスを設けるとか、オフィスビルのような事業をやっているようにお聞きしておりますので、開業まで時間があるわけなので、開業前から我々と一緒に地域を盛り上げていく取組をお願いしたいと思います。

【松川町長】

- ・ 松川町でも発生土の搬入が始まりましたが、リニア建設、発生土の活用事業に工事に、地元の企業が参加できるようにお願いしたいと思います。
- ・ 工事発注の要件などがあることは承知しておりますが、地元の業者が少しでも多く参加することで、地域全体の産業基盤強化にも貢献しますし、地元にお金が落ちるということは非常に大きなところでありますので、ぜひお願いしたいと思います。
- ・ また、観光振興についてですが、リニア駅を起点とした広域の観光ルートはJR飯田線の沿線の町村で検討されていると思います。
- ・ JR東海の旅行商品、広報事業での積極的な強い発信をしていただければありがたいですし、駅や、車内での産物の紹介もお願いしたいと思います。

【高森町副町長】

- ・ 開業時に向けた意見ということで、1つ目はJR東海さんとリニア周辺市町村との連携した地方創生プロジェクトをお願いしたいと思います。
- ・ 現在、JR東海では、トスポが共通ポイントとして利用されており、駅や商業施設で使える仕組みであります。これを長野県駅周辺でも利用できる仕組みとしていただきたい。
- ・ また、地元には地域ポイントとして、ふくまる君カードがありますが、この地域は約14万5千人の人口ですが、その約3分の1の方が加入している状況で、これとも連携できる仕組みの検討をお願いしたいと思っております。
- ・ 2つ目は自由席や定期券の設定、このためのニーズ調査をお願いしたいということです。
- ・ 地方創生の主軸は東京一極集中の是正ではありますが、現在の仕組みの中では、効率化や生産性向上のためになかなか難しい面も多いと思っております。
- ・ リニアの開業というのは、地方創生に向けた社会的共通資本の整備であり、移住、二拠点居住が加速されていくのではないかと考えております。
- ・ 都市から南信州への通勤、南信州から都市への通勤、通学が促進されると思われるので、こうしたニーズ調査とともに、自由席、定期券の設定についての検討をお願いしたい。
- ・ 3つ目は、リニア駅と飯田線の乗り継ぎ、上伊那方面への飯田線の高速化についてです。
- ・ 当地域は長野県の南の玄関口であり、二次交通としてJR飯田線の上伊那方面へ乗り継ぎをはじめ、高速化、特急しなの飯田線への乗り入れも研究していただきたいと思っております。
- ・ こうしたことは、この地域の利便性の向上、交流人口の増加、通勤等の利便性の向上にもつながりますので、ぜひ検討、研究をお願いしたいと思います。

【喬木村長】

- ・ 喬木村堰下にありますガイドウェイヤードについて、6ヘクタールぐらいありますが、将来的に村の管理地となり、新しい地域づくりの拠点となるように検討しておりますが、現在はJR東海に活用していただいているところです。
- ・ 事業に着手してから10年くらい経ちますが、まだ造成も3分の1くらいしかできておらず、この先にどうなるかというのを案じています。
- ・ 当初の説明では2026年、今年中には返していただけるという約束でしたが、まだ返すことはできないということで、さすがにちょっとイラっとしております。
- ・ 村のこれからの地域振興計画を立てるにあたって、いろいろ障害になっておりますので、いつ完成するのか、そして、いつ返していただけるのかというのをお聞きしたい。

【大鹿村長】

- ・ リニアの開業を見据えまして、地域振興に関する地元事業者代表との協議の場を定期的に開催をしていただいていることに感謝を申し上げます。
- ・ 特に、元飯田駅長の方や観光振興の関係の方も人選をいただき、参加していただいております。
- ・ この協議も始まったばかりで、現状では共同事業を考えていこうというところに至っておらず、地元ニーズ、意見への対応といったところで終始しているのが状況です。
- ・ JR東海におかれましては、地元への対応といった受け身的な姿勢だけでなく、ぜひ、会社自ら主体的に地域振興策を行っていただき、そうしたことが企業イメージの上昇や、リニア中央新幹線の利用者の増につながるという意識を持って、地域との協力関係をより一層強化していただきたいと思っております。

【南木曾町長】

- ・ 工事が本格化しており、注目度が大変高まってきておりますので、工事に必要な活動のみならず、地域や町にとっても、やってよかったと思える工事と言われるように、ぜひ目に見えるかたちで地域振興、地域貢献をお願いしたいと思っております。

【JR東海本部長】

- ・ 工事を通じて、大変地域の皆様にお世話になっておりますので、リニアの開業後はもちろんですが、開業までの間においても、地域の振興、観光の振興などをやっていくことは重要であると考えております。
- ・ 鉄道事業者としての立場、現在は工事をする立場というところが基本になりますけども、自治体の皆様、地域の皆様としっかり連携して、協力して取り組んでいきたいと考えております。
- ・ 個別の話として、例えば、本社機能の移転というような話がありましたが、将来の組織の役割、機能ということを踏まえて、決めていくことになるため、現時点ではまだ検討できていないという状況ではあります。
- ・ 一方で、周辺のまちづくりについて、きちんと協力をさせていただきたいと考えております。
- ・ 工事における地元の企業の参加について、なかなか直接工事を発注する形にはなっておりません。
- ・ 一方、県内の企業については、延べ240社ほどの企業に携わっていただいております、引き続き、地元企業の力が必要になりますので、ご協力いただければと考えております。
- ・ また、いろいろなPRについて、鉄道事業者の立場から地域の皆様と連携して、協力して取り組んでいきたいと考えております。
- ・ 最近では名古屋駅のコンコースで、「リニアでつながるまちフェア」というイベントをやらせていただいております。
- ・ このイベントにおいて松川町にも参加いただいて、特産品、観光地を紹介いただきました。
- ・ また、インターネットで「いいもの探訪」といったサイトも立ち上げており、各地の特産

品などを紹介しております。こちら松川町のりんごを使った特産品などを紹介している実績もあります。

- ・ 関係人口を増やしていく取り組みでは、「conomichi」といったプロジェクトを立ち上げ、伊那谷を紹介する取り組みも進めております。
- ・ こういった取り組みについては地域の方とよく相談しながら、しっかりと進めていきたいと考えております。
- ・ 地域のポイントとの連携については、具体的な状況もよくお聞きして、どんなことができるのかということを検討していきたいと考えております。
- ・ リニアの自由席、定期券などの料金、営業制度については、開業時期までの社会情勢、経済情勢を踏まえて、検討していくということになりますので、本日のご意見も踏まえ考えていきたいと思っております。
- ・ JR飯田線とリニアの乗り継ぎや、飯田線のダイヤや運行の仕方についても、あわせて検討していく必要がありますので、考えていきたいと思っております。
- ・ 喬木村のガイドウェイヤードについては、期間が決まってない状況ということは承知しております。
- ・ 現在のお借りしている契約の期限が迫ってきておりますので、しっかりと今後の計画も説明しながら、期間の延長について協議させていただきたいと考えております。
- ・ また、地域振興について、JR東海でも主体的にというお話がありました。森づくりの支援など、すでにいろいろな取組をしておりますが、まだまだ主体的と見られてないと理解しましたので、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。
- ・ やはり地域の方のニーズや、地域の方がどんなことを考えているかということを見逃して進めていくことはできませんので、しっかりとコミュニケーションを取りながら取り組んでいきたいと思っております。
- ・ 引き続き、鉄道事業者としての立場は基本となりますが、工事中あるいは開業後を見据えて、しっかりと連携をさせていただいて、貢献できるように努めていきたいと思っております。

【飯田市長】

- ・ 定期券の話ですが、ベースになる利用者を確保するという意味では、なくては困ると思っております。
- ・ 現在は、この地域から名古屋圏や東京圏に通勤、通学が無理なので、どうしても地域外に出て行かざるを得ない状況です。
- ・ リニア開業後は、名古屋まで30分以内、東京まで50分以内という環境が、定期券を使って行けるということになれば、ここで住みながら通うということが可能になりますので、定期券を必ず作っていただきたいと思っております。

【JR東海本部長】

- ・ 定期券については、これからの営業のあり方、座席の体系を決めた上ということになりますが、地域ではそういう話があるということを大事にしていきたいと思っております。

【喬木村長】

- ・ ガイドウェイヤードの借用期間の延長について造成の完成時期がいつになるのかというのは、どうなんでしょうか。

【JR東海本部長】

- ・ ガイドウェイの工事については、土木の設備が整ってからになりますので、現時点では具体的に説明できない状況になります。
- ・ まず、土木工事の進捗も含めて、ガイドウェイ工事の計画をしっかりと詰めて、ヤードを貸していただく期間の延長の協議のなかで、しっかりとご説明しながら進めていきたいと思っております。

⑥その他

【松川町長】

- ・ リニアの長野県駅（仮称）から遠い市町村がたくさんありますが、重要になってくるのは二次交通です。
- ・ 二次交通の問題を解決していかないと、リニアのメリットを長野県全域に波及させることができないのではないかなと思っております。
- ・ 先ほども、ＪＲ飯田線の高速化の話がありましたが、上伊那の皆さんがリニア駅に高速で来ることができるというのは非常に使い勝手のいい計画であり、県外から来る方にとっても飯田下伊那地域、上伊那地域、諏訪地域にも移動していくためには、ＪＲ飯田線での移動というのは絶対必要と思っています。
- ・ ぜひ、開業までにまだ時間がありますので、具体的な検討を進めていただいくことが、開業時にリニア効果を得るために必要だと思いますので、お願いします。

【南木曾町長】

- ・ 南木曾町には、冬場には少し減ってきていますが、インバウンドで大勢の外国人の方々が来ていただいております。
- ・ 時間帯によっては南木曾駅が外国人でいっぱいになって、売り場に行列ができるといったことも珍しくない状況です。
- ・ 開業まで時間がありますので、ぜひキャッシュレス決済を導入して、在来線の整備も進めていただいて、開通時にはリニア効果が実現できるようにお願いしたいと思います。

【飯田市長】

- ・ 飯田市が進める駅周辺整備に関して、現地に行きますと、移転が行われて、更地が広がっている状況です。
- ・ 地権者の皆さんは2027年の開業というスケジュールが示される中で、土地をお譲りしていただいております。
- ・ そういった方々にとって今の光景というのは、非常に辛い光景だと思います。
- ・ 我々も同じような思いでいるので、ＪＲ東海で工事をする駅部分を除いた南北の部分については、一部でも供用開始できるように整備を進めているところです。
- ・ このため、駅部分の工期についてはしっかり守っていただいて、駅工事が完了したら、周辺整備を直ちに進められるように進めていただきたいと思います。
- ・ また、駅舎について、無機質なものではなくて、周りの環境に溶け込むようなデザインや仕様をお願いしたいと思います。
- ・ 飯田市が進める駅周辺整備については、降り立った時に信州を感じられるような雰囲気にしたので、キャノピーについても木製にする等、いろいろな配慮をしたいと思っていますので、駅周辺整備との調和をぜひお願いをしたいと思います。
- ・ 駅舎については、周辺住民の方からのご心配として、他の駅で駅舎から反射する光がまぶしいというようなことがあったそうです。
- ・ 具体的にどういう材質なのかというのはよくわかりませんが、そういった心配する住民の皆さんからの声があるということは、伝えておきたいと思います。
- ・ それから毎年申し上げますけれども、駅周辺については再生可能エネルギーの活用を検討しています。
- ・ 駅舎やフードにつきましても、これまでは荷重の問題で実現は難しいとのことでしたが、荷重の軽いペロブスカイトというような太陽光パネルが開発されつつありますので、そういった新しい技術も取り入れて、再生可能エネルギーを活用に取り組んでいただければと思います。

【ＪＲ東海本部長】

- ・ リニアの効果を広げていくためには、二次交通は非常に大事なファクターだと思っております。
- ・ 鉄道事業者でありますので、ＪＲ飯田線の使い方についてはしっかりと考えていかないと

いけないと考えております。

- ・ 一方で、道路も整備をされてきておりますので、道路によってリニア駅に訪れる方も多くいらっしゃると思われます。
- ・ アクセスということに関して、鉄道事業者としてきちんと協力し、リニアの効果が県内の多くの地域に広がっていくようにしていきたいと考えております。
- ・ キャッシュレス化についてはいろいろなお客様の動向を見ながら順次進めております。
- ・ 南木曾町では、インバウンドが増えて影響が出ているということで、地域に負担をかけているということをお聞きしたので、今後の施策に活かせるところは活かしていきたいと思えます。
- ・ 駅の工事については、当初の計画から工事が遅れてきたということもあって、周辺整備工事との調整が必要になり、なかなか飯田市の工事に手がつけられない状況であることは承知しておりますので、地元の説明している工期についてはしっかりと守っていきたくて考えておりますし、周辺整備工事との調整についても引き続きお願いしたいと思えます。
- ・ 駅舎がどんなデザインになるのかということについては、飯田市をはじめ、関係する方のご意見を伺いながら決めていくような場面を設けながら進めていきたいと思っております。
- ・ 駅舎がこの地域にふさわしい玄関口となるように、しっかりと考えを伺いながら進めていきたいと思えます。
- ・ 駅舎に関して、反射光が心配だという話もありました。
- ・ 具体的にどんな場面かということをお承知しておりませんので、材質、構造ということも含めて、お話を伺いながら、懸念を払しょくできるような形で進めていきたいと思っております。
- ・ 太陽光パネルについてですが、ペロブスカイトについては我々も着目をしておりまして、東海道新幹線の防音壁に貼れないかという検討もしております。
- ・ 一方で、長野県駅について、具体的にこういった場所に太陽光パネルを設置できるかという話も進めているところですので、引き続き、ウィンウィンの関係になれるように調整していきたいと思っております。

○その他

【阿南町長】

- ・ 大まかに、だいたい10年とか、20年とか、どのくらいで開業となるのかということをお聞きしたい。

【JR東海本部長】

- ・ 静岡工区が着手できていないので、申し上げることは難しい状況です。
- ・ 静岡工区は、元々2017年に工事着手して、10年後の2027年で出来上がる計画でスタートしました。
- ・ 単純にいくとプラス10年ということになりますが、一方で、南アルプストンネルは山梨工区、長野工区でも工事を進めており、当初よりも少し時間がかかっているという状況もあります。
- ・ こういったことを踏まえ、静岡工区もより伸びるという可能性もあると思っておりますが、山梨工区、長野工区や他の工区のトンネルの状況も踏まえ、なんらかの形で情報提供できるように進めていきたいと考えております。

【阿智村長】

- ・ リニア開業を見据えた観光に関して二次交通が大事だと思っており、JR飯田線が通っていない町村にとっては切実に困っております。
- ・ 具体的にいうと、JR東海バスによる二次交通をお願いしたいと思えます。
- ・ 地元には信南交通もありますが、ぜひリニア沿線のところはJR東海バスを停めていただきたい。
- ・ 今は阿智村にはJR東海バスは運行しておりませんので、昼神温泉を通りながら、南木曾町を通過して、中津川に行く、リニア岐阜県駅とリニア長野県駅を結ぶようなバスをお願い

したいと思っております。

- ・ 長野県も宿泊税を6月から導入をすることになり、県でも力を入れるとのことですので、ぜひ一緒になって、連携していけたらと思います。
- ・ また、最近、阿智高校の三年生に対して、JR東海から、リニアについて説明していただきました。
- ・ 未来の地域の発展を担う子供たちへのPRも、地元としても一緒になって進めていきたいと思っております。

【根羽村長】

- ・ リニアの開通について大いに期待しておりますので、ぜひ着実に工事を進めていただきたいと思っております。
- ・ この地域で将来を見据えた様々な民間の計画等がございますので、できるだけ早い時期に開業についての見通しを示していただきたい。
- ・ リニアを使った新しいライフスタイルのPRや広域観光等について取り組んでいきたいので、JR東海が持っている様々なツールを使って、協力をお願いしたいと思っております。
- ・ リニアとJR飯田線の相互利用について、対応を一緒になって検討していただきたい。
- ・ 我々の地域や駅周辺にオフィスビルが建設されて、JR東海に関連する何らかの施設ができるということがあると、双方の魅力アップにもつながっていくと思っておりますので、しっかり検討いただき、実現していただきたい。

【下條村長】

- ・ 睦沢で盛土工事をやっているわけですが、形が見えてきて、村民や周辺の地域の人たちの期待も高まってきております。
- ・ 盛土工事が終わった後、村で南部地区の玄関口として開発をしていきますが、民間による開発も検討していくためには盛土の工事がいつ終わるかということが、重要になってきますので、完了時期がいつになるかということを示してもらいたいと思っております。
- ・ また、下條村は本線や関連する施設があるわけではないが、トンネル発生土の処理地として造成していただいている。盛土の安全性についても、工事が終わったらおさらばということではなく、技術的な支援も含めて、関係が続いていくようお願いしたいと思っております。

【売木村長】

- ・ 非常にリニア開通に期待をしていますが、開通時期が見えないというのは非常に不安なところでもあります。
- ・ 売木村はリニア駅まで1時間かかるところに位置しており、人口減少から村が小さくなっていくという中で、交流人口や関係人口を使って、移住・定住を進めています。
- ・ リニアが開通で村が化けると、それまで頑張ってきたこの村を維持するんだと皆でいっております。
- ・ これから国もふるさと住民登録制度も始まりますので、そういうことを使いながら地域を守っていききたいと考えておりますので、ぜひ頑張ってください、開通に向けて進めていただきたいと思っております。

【天龍村長】

- ・ 天龍村もリニア駅から非常に遠いところにありますが、JR飯田線が村の南北に通っており、5つの駅があって、非常にありがたく利用させていただいております。
- ・ JR飯田線を利用して、リニア駅までのアクセスを非常に向上していただきたいと思っております。
- ・ 観光路線としても、さわやかウォーキングや秘境駅号など非常に大勢の皆さんが利用されてはおりますので、飯田線の活性化あるいは利便性の向上を、今後のリニアの開業を問わず続けていただければありがたいと思っております。
- ・ また、個人的によくJR飯田線を利用させていただくんですけども、ぜひ、特急だけでいいので、車内でインターネットが使える環境を整えていただくと非常にありがたいなと

思います。

【泰阜村長】

- ・ 開業時期を早く示していただくということが大事だと思っております。
- ・ 村職員のモチベーション維持や、行政が行う地域づくりに関しても開業時期が非常に重要。
- ・ また、リニア開業した効果を波及させていくための2次交通として、J R飯田線の利便性向上は大事であると思っております。
- ・ J R飯田線は今でも重要なインフラですので、広い意味で活性化させるようお願いしたいと思います。

【中川村長】

- ・ 半の沢の盛土について、かなりしっかりしたものができつつあるということで、感謝を申し上げます。
- ・ 小和田の土地改良についても、2年経過しておりますが、順調に進んでおり、これも併せて感謝を申し上げます。
- ・ 中川村は発生土の運搬路の途中にあります。道路清掃をしっかりやっただけのことや、運搬路に係る竹などの伐採も細かく要望に応じていただいておりますし、本当にありがたいと思っておりますし、引き続きお願いしたいと思っております。
- ・ 運搬期間については、長ければ長いほど沿線住民にとってはいつ終わるんだという感覚になるので、ぜひ努力をお願いしたいと思っております。
- ・ また、夏祭りにブースを出していただいたり、花火にも協力していただき感謝しているので、今後ともお願いしたい。
- ・ リニアの工事現場を教育の面から見てもらえるような機会を設けていただきたいと思います。

【J R東海本部長】

- ・ 開業の時期を早く示してほしいということ、二次交通についてJ R飯田線のみならずバスなどの意見があったことについて、しっかりと受け止めたいと思っております。
- ・ 発生土置場の将来的な管理に対する心配や運搬に関する心配、地域振興に関するお考えをお聞きしましたので、しっかりと答えられるように取り組んでいきたいと思っております。
- ・ リニアの開業はもちろん、開業までの工事期間においても、地域の方々と連携しながら、地域振興、地域貢献をしっかりやっていきたいと思っておりますので、引き続き、コミュニケーションをしっかり取りながら、地域のご心情をしっかり伺った上で取り組んでいきたいと思っております。

7 閉会のあいさつ

【リニア整備推進局長】

- ・ 本日の会は単に地元が要望する場だけではなく、対話がすごく重要だと思っております。
- ・ 具体的な決済の電子化、飯田線の高速化、本社機能移転等、いろいろなアイデアを出して、J R東海の方もウィンウィンとなるようなことが必要だと思っております。
- ・ 引き続きよろしくお願いしたい。